



さいたま新都心に一番近い学校

平成28年12月号

平成28年12月1日

さいたま市立下落合小学校

電話 852-2280

FAX 852-0188

# 下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

## 「イ（にんべん）」と「憂（うれ：い）」を合わせると・・・

校長 稲垣克行



音楽会：6年生の「絆」「スターウォーズ」

2学期も後わずかとなりました。11月12日の音楽会では、多くの方においでいただき、子どもたちの成長した姿を見ていただくことができました。そして、11月15日の小・中合同音楽会では、4年生が、心のこもった、きれいな歌声を他校に披露してくれました。

成長ということにおいて、「優」と「憂」の字に着目した人がいます。面白い解説なので紹介をしたいと思います。「優」は、「やさしい」「すぐれる」などのよい感覚の文字です。「憂」は、「うれしい」で、心配ごと、ふさぎ込むなど、心の不安定な感覚を表します。「優」は「イ（にんべん）」に「憂」と書きます。「イ（にんべん）」は人間を表すので、人間が「うれしい、悩む、心配する」と「優（やさ）しい」「優（すぐ）れる」「優秀」になるというわけです。

「子どもたち（私たち大人も同じ）は、生活する中で、いろいろな困難や、悩ましいことを経験します。その経験を正面から受け止め、他人に責任を押し付けず、解決し乗り越えることによって、『優れた人』『優しい人』に成長する。」ということなのでしょう。

「子どもたち（私たち大人も同じ）は、生活する中で、いろいろな困難や、悩ましいことを経験します。その経験を正面から受け止め、他人に責任を押し付けず、解決し乗り越えることによって、『優れた人』『優しい人』に成長する。」ということなのでしょう。

私たち大人は、我が子の成長を望みます。しかし、子どもの悩んでいる姿を見ることは、親にとって耐えられない辛さを伴うものです。そのためにも、保護者が孤立することの無いよう、保護者同士、学校と保護者が手をつなぎ、子どもの成長を見守る体制を作ることが大切だと感じます。今後とも、学校教育への御理解と子どもをよりよく育てる環境の整備に御協力お願いいたします。



起震車による地震体験

### <避難訓練を行いました>

11月21日(月)に、消防署の協力を得て避難訓練を行いました。地震とそれに伴う火災からの避難を想定しました。「おかしもち（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかよらない）」にそっての訓練です。その後、6年生が起震車体験、5・4年生が煙体験、3・2・1年生が消火方法の見学を行いました。事が起きた時には、冷静に行動することを学びました。